

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 インヴァスト証券株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8709 URL <https://www.invast.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 猛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 二重作 将人 TEL 03-3595-4133
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,320	11.5	2,215	10.3	5	△97.6	20	△91.5	15	△92.0
2019年3月期第2四半期	2,080	7.7	2,008	4.6	228	10.3	235	13.3	192	△1.9

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 2百万円（△98.3%） 2019年3月期第2四半期 157百万円（△29.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.63	—
2019年3月期第2四半期	32.69	32.69

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	114,842	10,672	9.3
2019年3月期	111,180	10,784	9.7

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 10,648百万円 2019年3月期 10,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	19.00	37.00
2020年3月期	—	18.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2020年3月期の期末配当は、現時点において未定ですが、連結配当性向30%または連結純資産配当率（D O E）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

当社の主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 （社名）

除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	5,904,400株	2019年3月期	5,904,400株
2020年3月期2Q	28,069株	2019年3月期	28,069株
2020年3月期2Q	5,876,331株	2019年3月期2Q	5,876,365株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は利益の分配について、安定的な配当の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針とし、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行ってまいります。

配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足や都市開発に伴う雇用環境の改善が継続しているものの、米中貿易摩擦の先行き不透明感や、中東情勢を中心とした地政学リスクの高まりから、製造業を中心に設備投資等の経済活動への慎重化が依然として全体の重石となっており、以前にも増して景況感の悪化が顕著になってきております。

外国為替市場では、ドル円相場が4月後半から継続している世界的な金融緩和の流れの中で円高基調が継続し、8月には今年の1月以来となる104円台中盤まで下落する場面も見られました。しかし、その後は来年の選挙での再選を最優先課題とするトランプ氏がマーケットへの配慮を見せると相場は反転し、108円台まで戻して取引を終える結果となりました。Brexitへの不透明感が依然として払拭されない英ポンドや、景況感の悪化が著しいEUR、利下げ観測の強いオセアニア通貨等、相対的にドルが強い相場展開となっており、これが年末に向けて継続するかどうか注目されています。

株式市場は、米中貿易摩擦が激化した5月に世界的に一時軟調となったものの、その後は同貿易摩擦が落ち着きを取り戻したこと等を背景に株式市場への資金流入が顕著となり、7月には米国のNYダウ、ナスダック、SP500は揃って史上最高値を更新する場面が見られました。その後、トランプ氏の対中強硬姿勢が強まった状況では手控えムードが強まりましたが、第2四半期末に向けては為替相場同様、安値から切り返す展開となりました。

このような経済状況のもとで、当社は「トライオートFX/ETF」サービスを注力事業とし、自分のアイデアで自動売買を作る「ビルダー」機能のリリースや、自動売買セレクトのバージョンアップ等を行いました。取引システムの安定稼働、システム障害の未然防止のための体制構築を優先し、キャンペーン等のマーケティング施策を一時的に控えたことから、営業収益が落ち込みました。

また、豪州連結子会社の顧客（ドバイ所在の合同会社1社）において決済不足金が発生し、回収可能性を検討した結果、当該不足金（長期立替金）に対する貸倒引当金繰入額2億59百万円を当第2四半期において、販売費・一般管理費に計上しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は23億20百万円（前年同四半期比111.5%）、純営業収益は22億15百万円（同110.3%）となり、連結子会社の顧客決済不足金（長期立替金）の発生に伴うコスト増等の特殊要因が利益を圧迫したことより営業利益は5百万円（同2.4%）、経常利益は20百万円（同8.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15百万円（同8.0%）となりました。

なお、2019年9月末の連結預り証拠金残高は、815億13百万円（2019年3月末比99.4%）となりました。

セグメントの業績概況は次のとおりであります。

① 国内金融事業

国内金融事業においては、当社が取引所FX、取引所CFD、店頭FX及び店頭CFD事業を行っております。また、子会社インヴァストキャピタルマネジメント株式会社が貸金業（不動産業者向けファイナンス、中小企業向け事業資金ファイナンス等）を行っております。

国内金融事業の純営業収益は13億11百万円（前年同四半期比89.1%）となり、セグメント利益は49百万円（同35.6%）となりました。

② 海外金融事業

海外金融事業においては、オーストラリアの子会社IFSが店頭FX取引、店頭CFD取引及び証券取引サービスを行っております。IFSの決算日は12月31日となっているため、当第2四半期連結累計期間においては、2019年1月から6月までの実績を反映しております。海外金融事業の純営業収益は9億19百万円（前年同四半期比168.5%）となり、セグメント損失は47百万円（前年同四半期は93百万円のセグメント利益）となりました。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

① 受入手数料

当第2四半期連結累計期間の受入手数料の合計は2億92百万円（前年同四半期比94.6%）となりました。

内訳は以下のとおりであります。

・取引所為替証拠金取引に係る受入手数料	1億24百万円（同78.9%）
・委託手数料	9百万円（同131.8%）
・投資顧問料	6百万円（同68.4%）
・その他の受入手数料	1億51百万円（同113.1%）

② トレーディング損益

当第2四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、17億3百万円（前年同四半期比109.3%）の利益となりました。これは店頭FX取引等によるものであります。

③ 金融収支

当第2四半期連結累計期間における金融収支は、90百万円（前年同四半期比556.3%）となりました。主な発生要因は預金利息によるものであります。

④ 販売費・一般管理費

当第2四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、22億10百万円（前年同四半期比124.2%）となりました。主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	3億78百万円（同82.1%）
・人件費	6億62百万円（同123.2%）
・不動産関係費	6億70百万円（同112.5%）
・事務費	24百万円（同178.7%）
・減価償却費	94百万円（同91.1%）
・租税公課	59百万円（同134.7%）
・貸倒引当金繰入額	2億59百万円（同一%）
・その他	62百万円（同252.1%）

⑤ 営業外収益

当第2四半期連結累計期間においては43百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・為替差益	42百万円
・未払配当金除斥益	0百万円
・その他	0百万円

⑥ 営業外費用

当第2四半期連結累計期間においては28百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・固定資産除却損	10百万円
・解約違約金	8百万円
・匿名組合投資損失	7百万円
・その他	1百万円

⑦ 特別利益

当第2四半期連結累計期間においては3百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	3百万円
----------------	------

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して36億61百万円増加し1,148億42百万円となりました。

流動資産は、35億2百万円増加し1,136億95百万円となりました。流動資産の主な増加項目は、預託金の増加49百万円と外為取引未収入金の増加48億89百万円であり、一方、主な減少項目は、現金・預金の減少4億1百万円、短期貸付金の減少55百万円と短期差入保証金の減少9億85百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末と比較して1億59百万円増加し、11億47百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,041億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ、37億73百万円増加しました。

流動負債は、37億35百万円増加し1,040億77百万円となりました。流動負債の主な増加項目は、外為取引未払金の増加42億95百万円であり、主な減少項目は、受入保証金の減少4億52百万円と未払法人税等の減少58百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し84百万円となりました。

また、特別法上の準備金は、8百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は106億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億12百万円減少しました。主な減少要因は配当金の支払いによる1億11百万円、主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益15百万円の計上であります。

この結果、自己資本比率は9.3% (前連結会計年度末は9.7%) となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	6,307	5,905
預託金	23,366	23,416
顧客分別金信託	3,650	3,430
顧客区分管理信託	19,357	19,626
その他の預託金	359	359
短期差入保証金	57,982	56,997
外為取引未収入金	21,270	26,160
短期貸付金	1,080	1,025
その他	187	193
貸倒引当金	△3	△3
流動資産計	110,193	113,695
固定資産		
有形固定資産	65	120
無形固定資産	348	347
投資その他の資産	573	678
投資有価証券	118	118
出資金	342	374
繰延税金資産	24	99
長期立替金	0	252
その他	87	86
貸倒引当金	△0	△252
固定資産計	987	1,147
資産合計	111,180	114,842
負債の部		
流動負債		
受入保証金	81,966	81,513
外為取引未払金	17,778	22,073
未払法人税等	169	110
賞与引当金	45	32
役員賞与引当金	24	-
その他	357	346
流動負債計	100,341	104,077
固定負債		
繰延税金負債	1	12
その他	40	72
固定負債計	42	84
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	12	8
特別法上の準備金計	12	8
負債合計	100,396	104,170

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,965	5,965
資本剰余金	2,313	2,313
利益剰余金	2,539	2,443
自己株式	△34	△34
株主資本合計	10,784	10,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	85
為替換算調整勘定	△94	△124
その他の包括利益累計額合計	△26	△39
新株予約権	7	7
非支配株主持分	19	15
純資産合計	10,784	10,672
負債・純資産合計	111,180	114,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益		
受入手数料	309	292
トレーディング損益	1,558	1,703
金融収益	88	195
その他の営業収益	124	128
営業収益計	2,080	2,320
金融費用	72	104
純営業収益	2,008	2,215
販売費・一般管理費		
取引関係費	460	378
人件費	537	662
不動産関係費	596	670
事務費	13	24
減価償却費	103	94
租税公課	44	59
貸倒引当金繰入額	-	259
その他	24	62
販売費・一般管理費計	1,779	2,210
営業利益	228	5
営業外収益		
為替差益	11	42
未払配当金除斥益	1	0
その他	3	0
営業外収益計	16	43
営業外費用		
固定資産除却損	-	10
解約違約金	-	8
匿名組合投資損失	10	7
その他	0	1
営業外費用計	10	28
経常利益	235	20
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	7	3
負ののれん発生益	1	-
特別利益計	8	3
税金等調整前四半期純利益	243	23
法人税、住民税及び事業税	38	84
法人税等調整額	12	△76
法人税等合計	51	8
四半期純利益	192	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	192	15

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	192	15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	16
為替換算調整勘定	△59	△29
その他の包括利益合計	△35	△12
四半期包括利益	157	2
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表上、有形固定資産(純額)が57百万円、流動負債のその他が25百万円、固定負債のその他が33百万円、それぞれ増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「投資その他の資産」の「その他」に表示していた「長期立替金」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」の「その他」に表示しておりました88百万円は、「長期立替金」0百万円、「その他」87百万円として組み替えております。

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、独立掲記しておりました「取引所為替証拠金取引に係る受取手数料」、「委託手数料」、「投資顧問料」及び「その他の受入手数料」は、営業収益の「受入手数料」に含めて表示しております。

前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取配当金」及び「還付加算金」は、金額的重要性が乏しくなったため、営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取配当金」0百万円及び「還付加算金」0百万円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	1,471	545	2,017	△8	2,008
セグメント利益	138	93	231	△2	228

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△8百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△2百万円は、子会社株式の取得関連費用△2百万円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	1,311	919	2,230	△14	2,215
セグメント利益 又は損失(△)	49	△47	1	4	5

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△14百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額4百万円は親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。